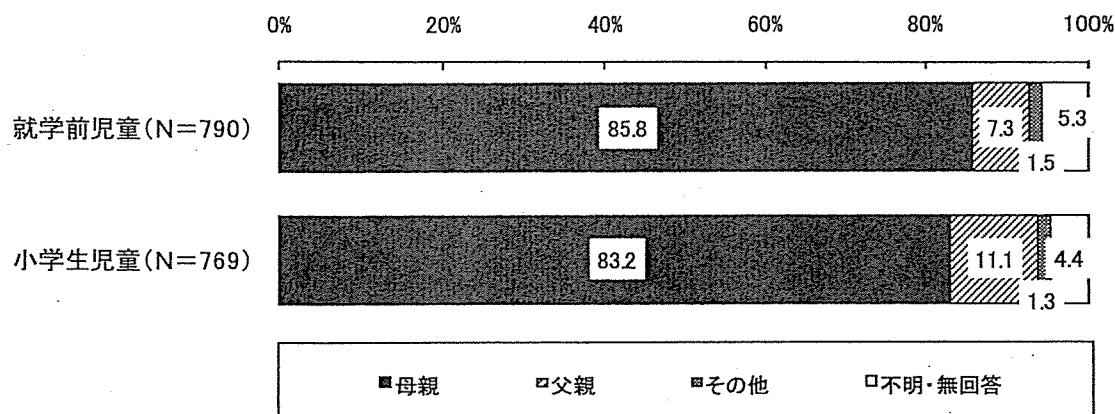


II 調査結果

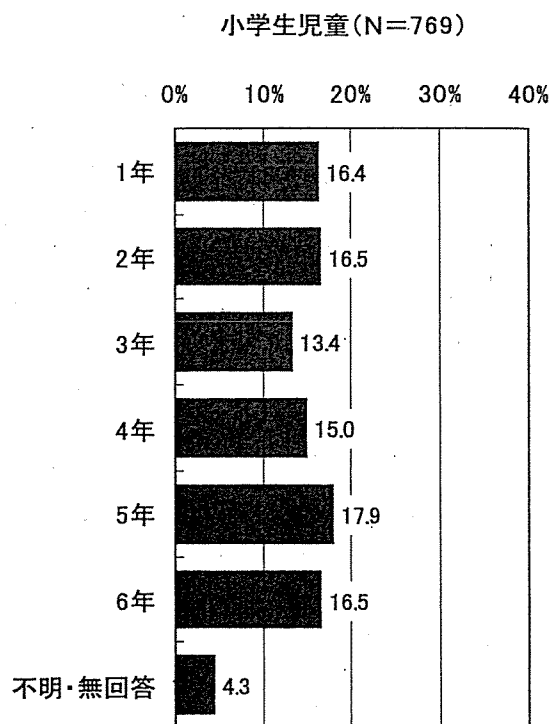
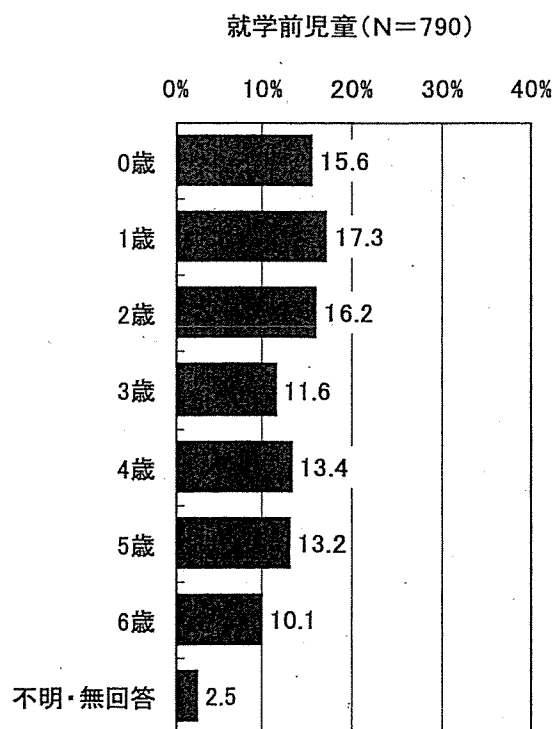
(就学前児童・小学生児童調査)

1 対象者（回答者）の属性

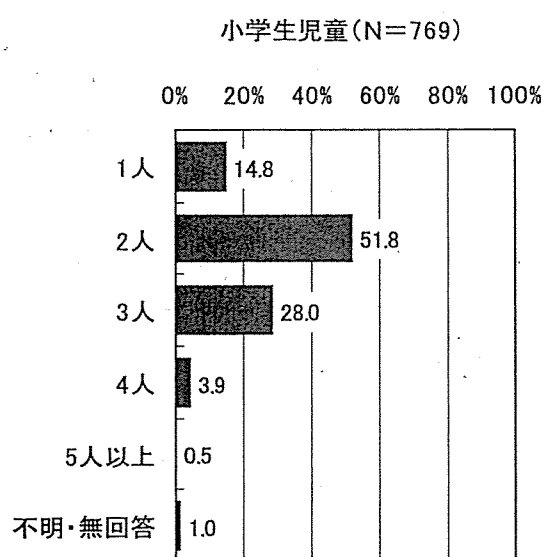
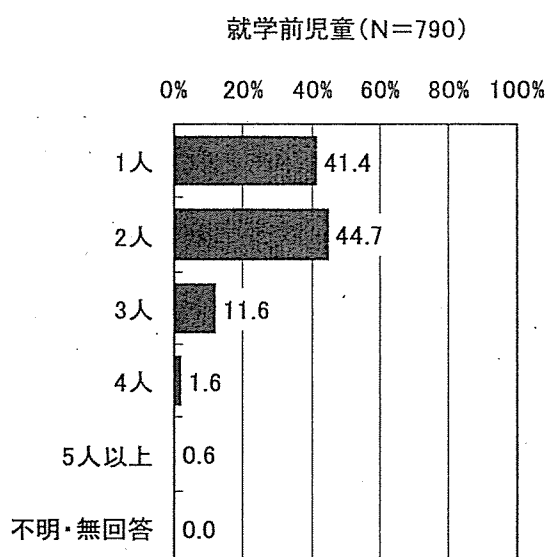
（１） 回答者（単数回答）



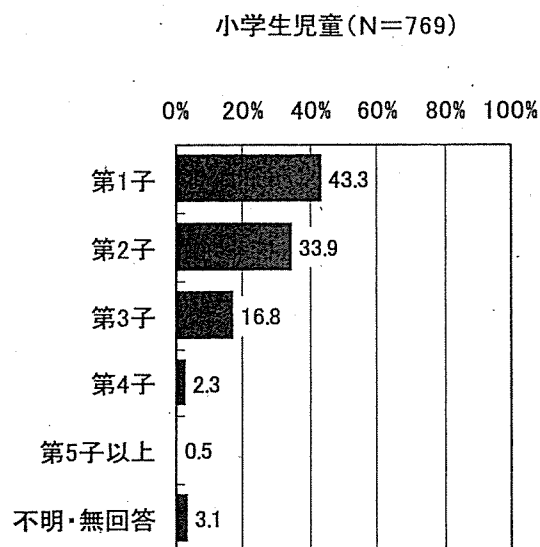
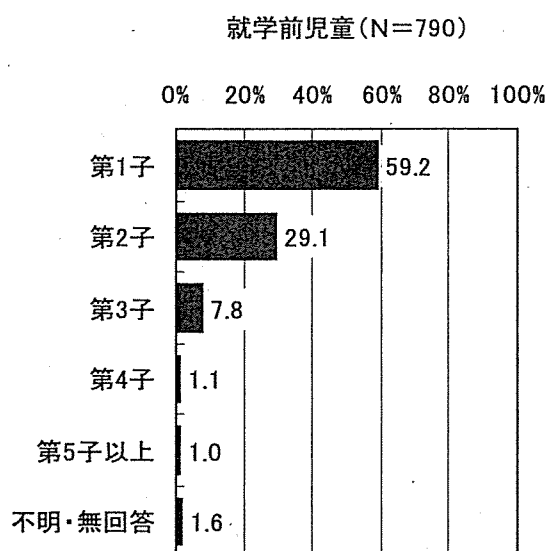
（２） 対象の子どもの年齢と学年（数量回答）



(3) 子どもの人数 (数量回答)

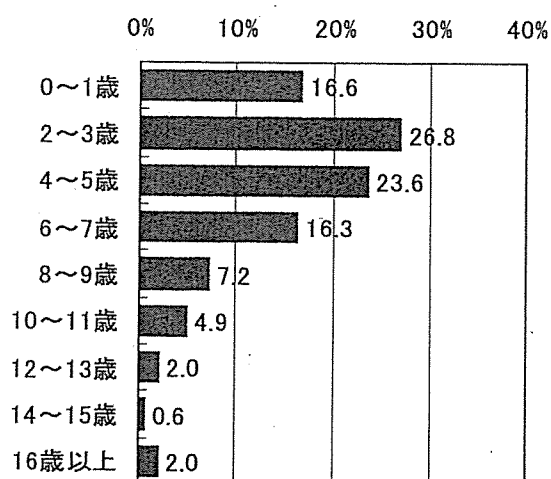


(4) 対象の子どもについて (数量回答)

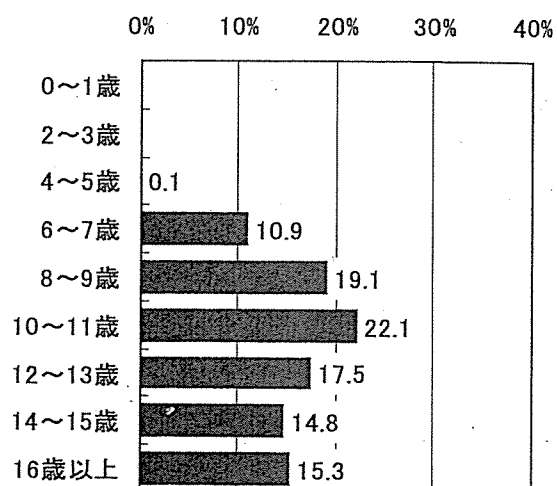


(5) すべての子どもの年齢と数（数量回答） ※割合は不明・無回答を除くもの

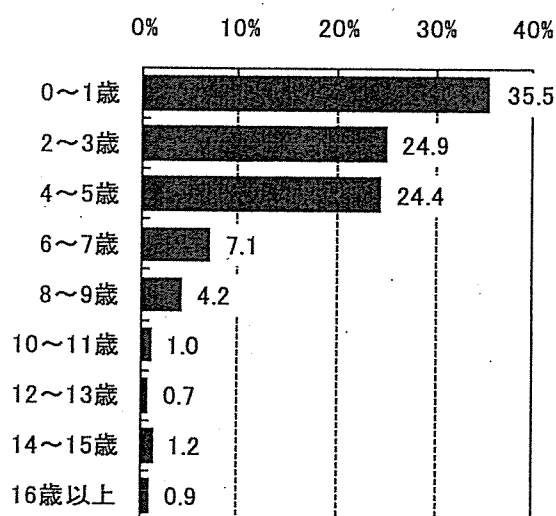
【第1子】 就学前児童(N=698)



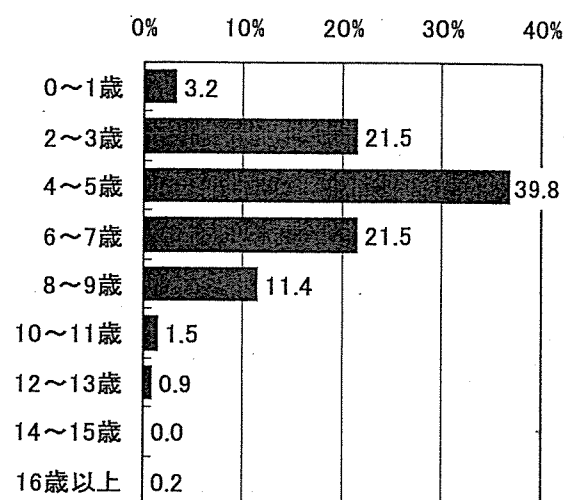
小学生児童(N=724)



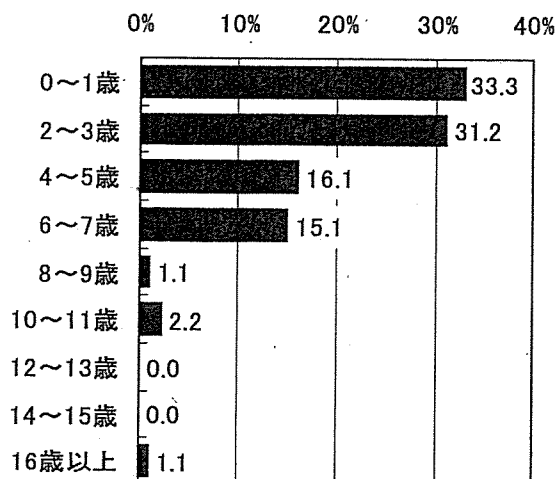
【第2子】 就学前児童(N=302)



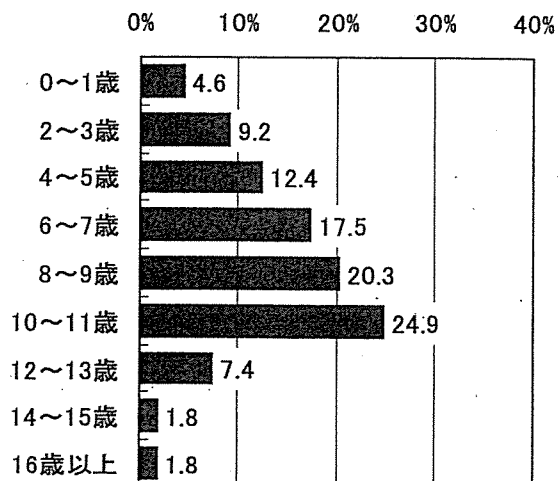
小学生児童(N=586)



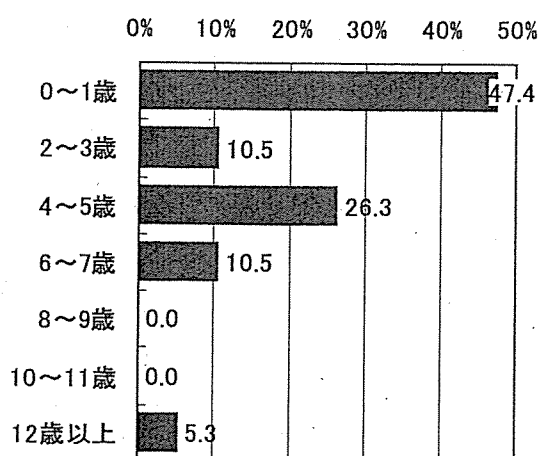
【第3子】 就学前児童(N=93)



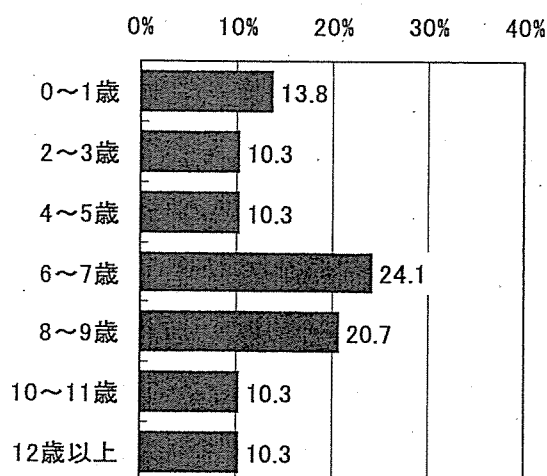
小学生児童(N=217)



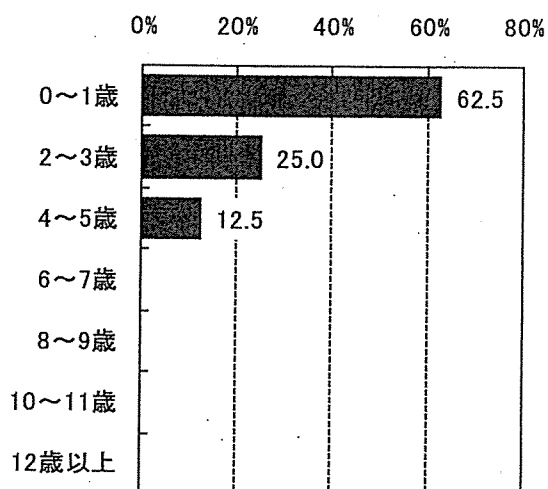
【第4子】 就学前児童(N=19)



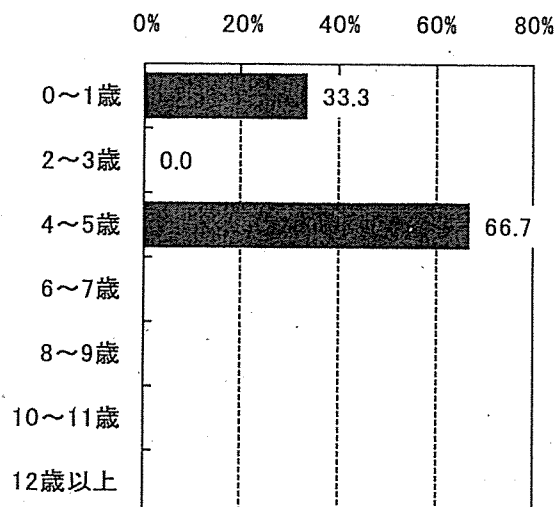
小学生児童(N=29)



【第5子】 就学前児童(N=8)

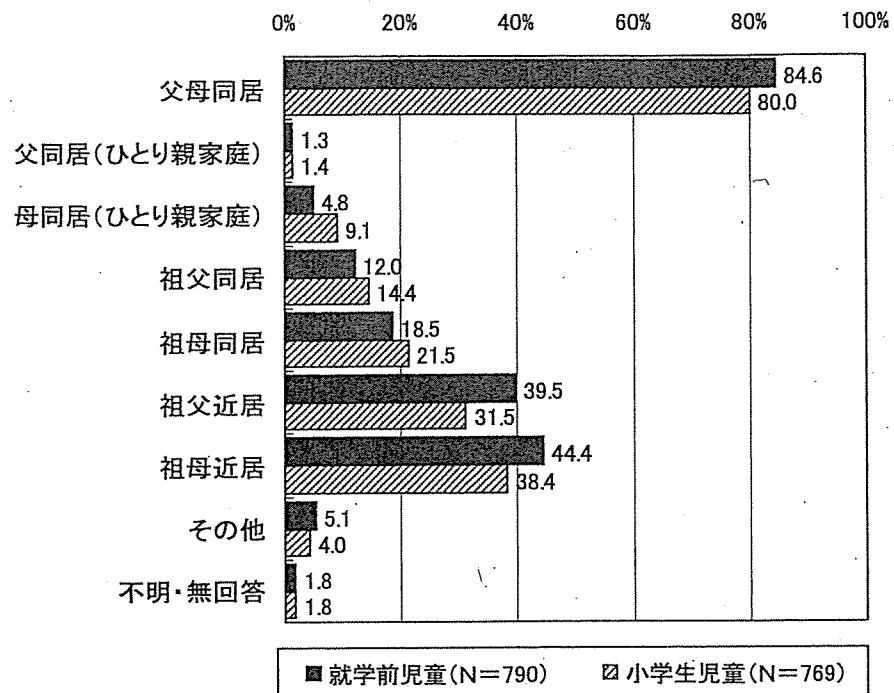


小学生児童(N=3)



(6) 同居・近居の状況（複数回答）

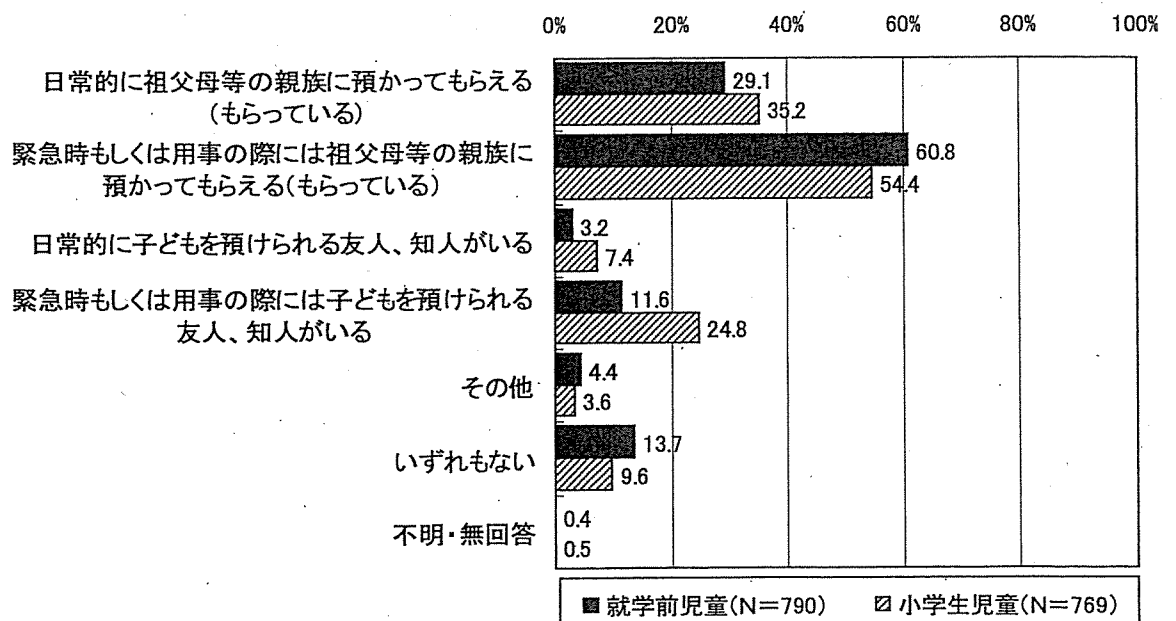
同居、近居の状況については、「父母同居」が就学前児童で84.6%、小学生児童で80.0%と最も高くなっています。



(7) 子どもを預かってもらえる人の有無（複数回答）

子どもを預かってもらえる人の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる(もらっている)」が就学前児童で60.8%、小学生児童で54.4%と、ともに最も高くなっています。

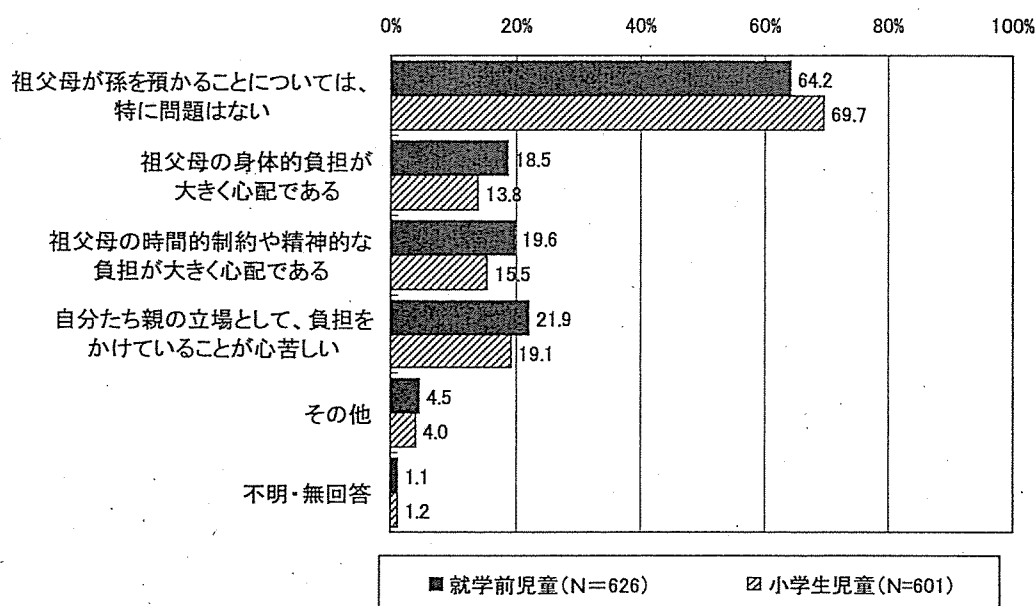
また、「いずれもない」の回答は就学前児童で13.7%、小学生児童で9.6%みられます。



(7) - 1 祖父母等に預かってもらっている状況（複数回答）

祖父母等に預かってもらっている状況については、「祖父母が孫を預かることについては、特に問題がない」が就学前児童で64.2%、小学生児童で69.7%と、ともに最も高くなっています。

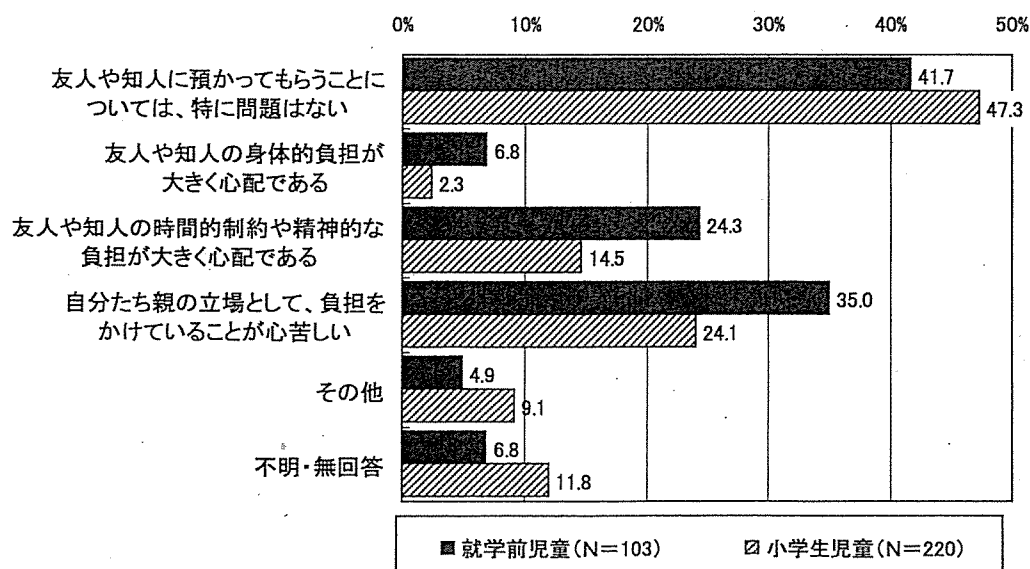
また、就学前児童においては、小学生児童よりも、やや預けにくさを感じている傾向がうかがえます。



(7) - 2 友人や知人に預かってもらっている状況（複数回答）

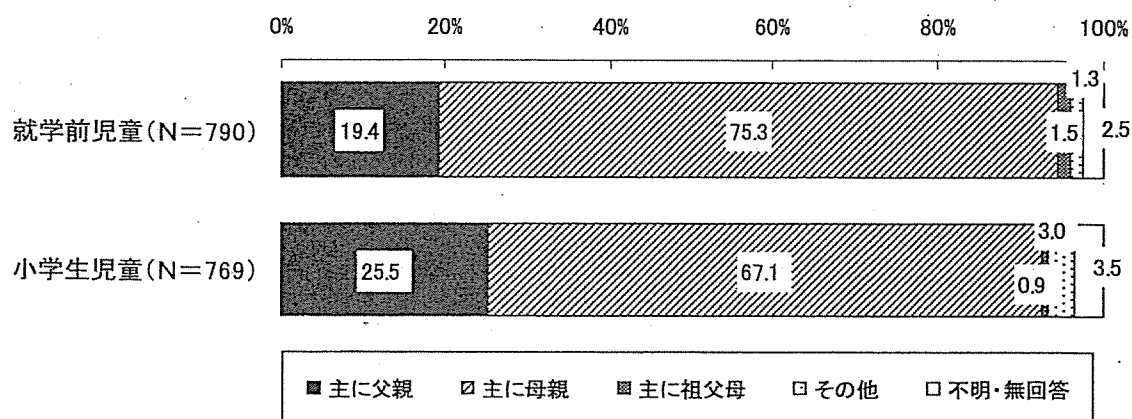
友人や知人に預かってもらっている状況については、「友人や知人に預かってもらうことについては、特に問題がない」が就学前児童、小学生児童とともに4割を超え、最も高くなっています。

また、就学前児童、小学生児童ともに祖父母に預かってもらう場合に比べ、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」「友人や知人の時間的制約精神的な負担が大きく心配である」といった、自身の精神的負担をあげる割合が高くなっています。



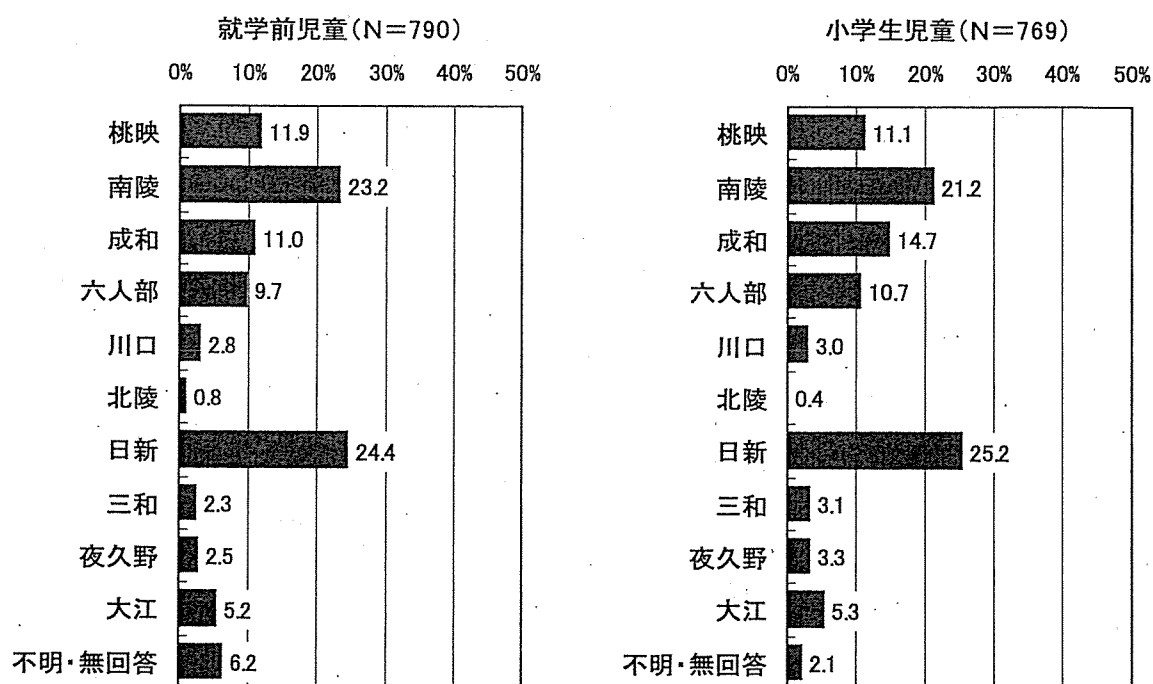
(8) お子さんの身の回りの世話などを主にしている方（単数回答）

子どもの身の回りの世話などを主にしているのは、「主に母親」が就学前児童で75.3%、小学生児童で67.1%となっており、ともに大部分を占めています。



(9) 居住地（単数回答）

居住地については、以下のとおりとなっています。

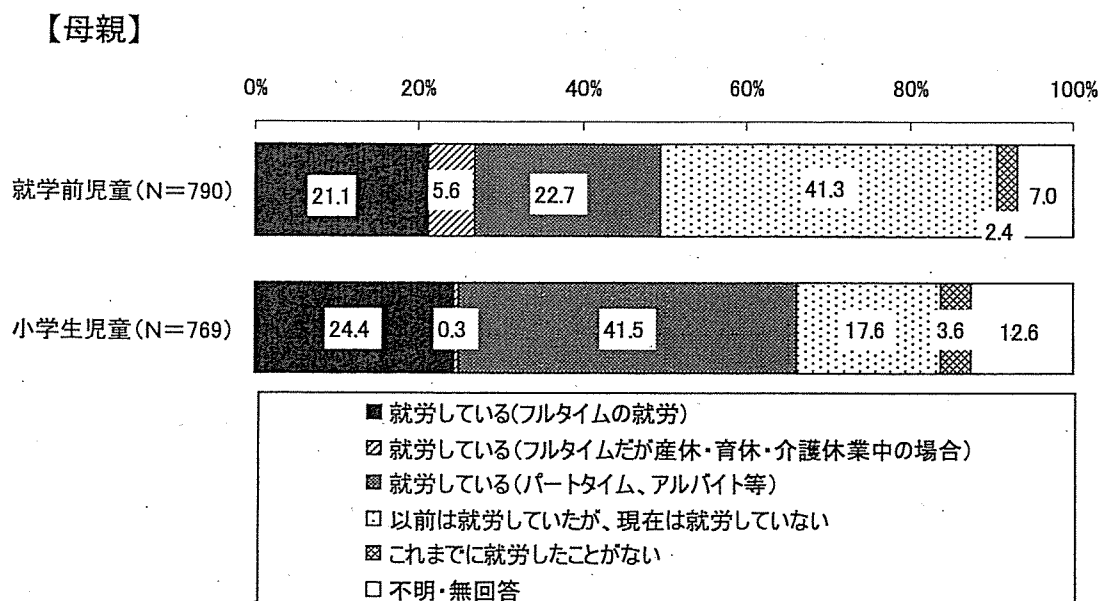
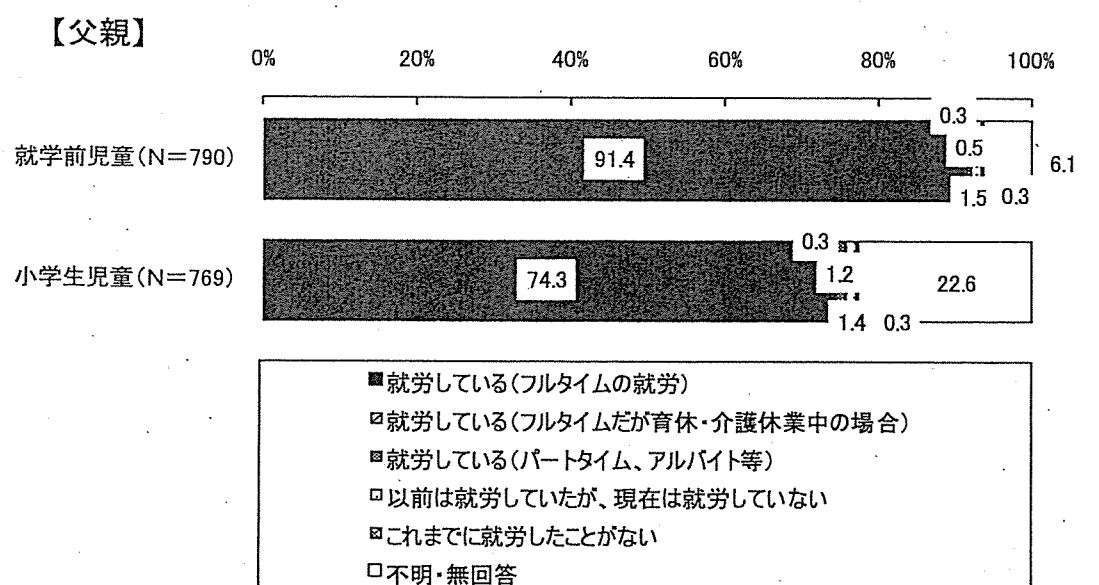


2 保護者の就労状況について

(1) 保護者の就労状況（単数回答）

保護者の1週あたり就労状況をみると、父親については「就労している（フルタイムの就労）」が就学前児童で91.4%、小学生児童で74.3%と、ともに7割を超え、大部分を占めています。

母親については、就学前児童では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が41.3%と最も高くなっていますが、小学生児童では「就労している（パートタイム・アルバイト等）」が41.5%と最も高くなっています。

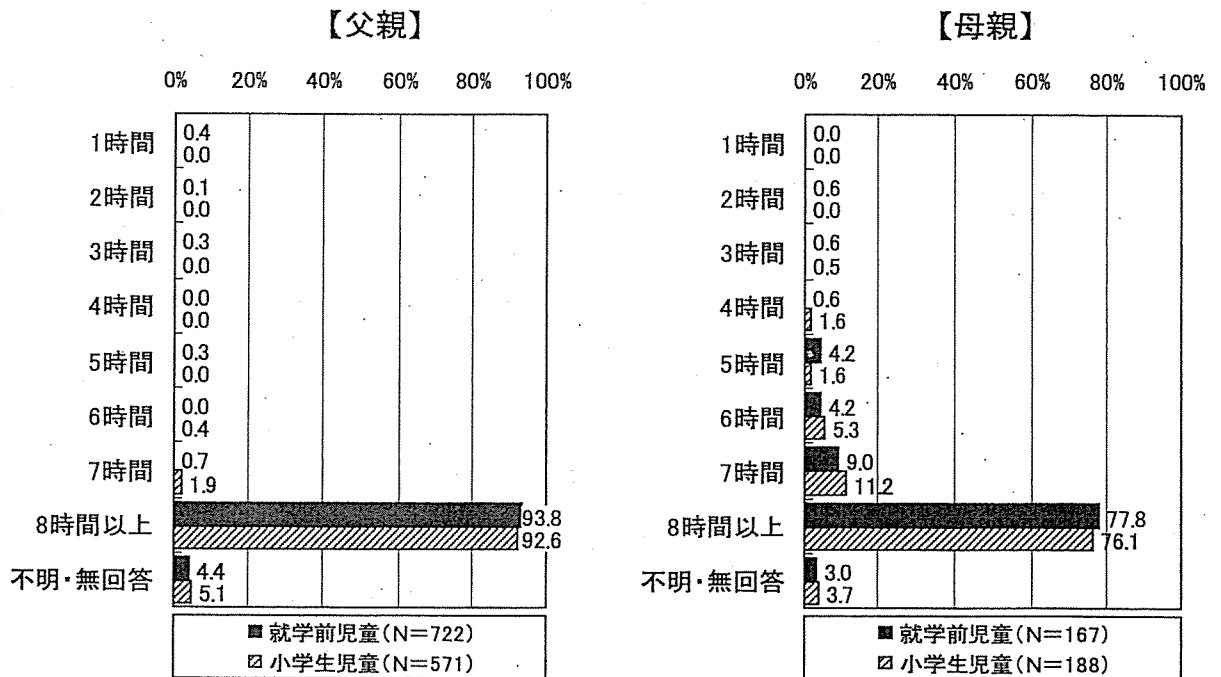


(2) フルタイムで就労している保護者の状況

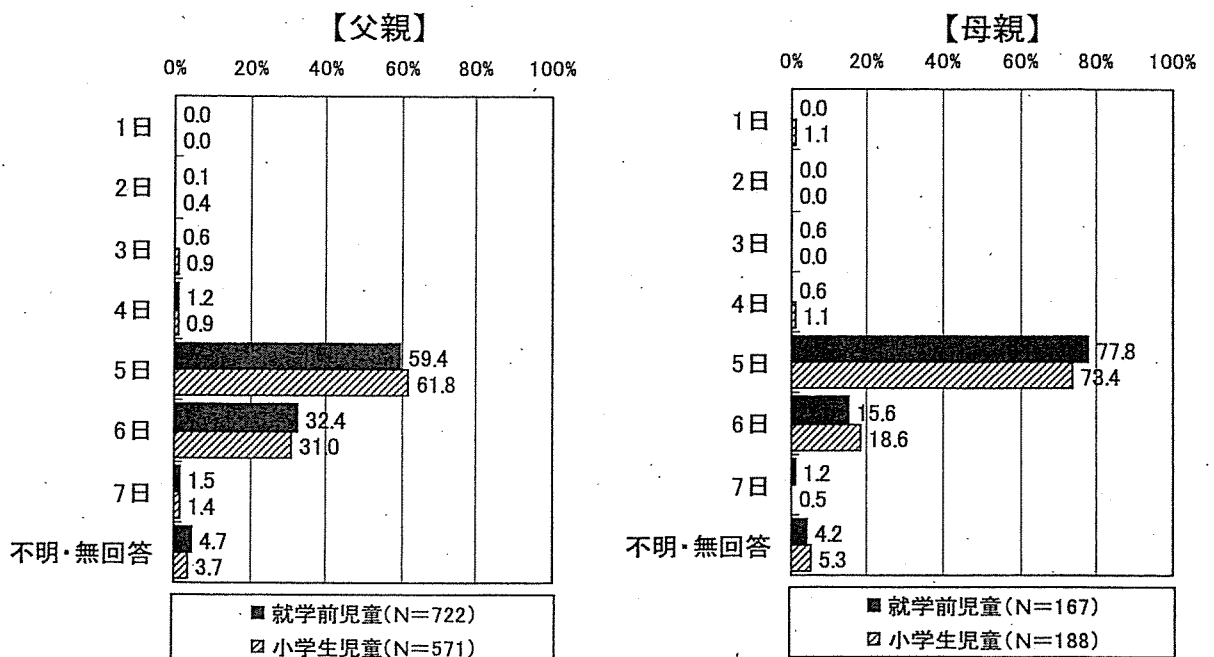
保護者の週あたりの就労時間については、就学前児童、小学生児童で父親、母親ともに1日あたり「8時間以上」、週あたり「5日」での割合が高くなっています。帰宅時間については、父親では「19～20時」、母親では「17～18時」の割合が高くなっています。

また、「土曜日・日曜日及び祝日の就労もある」では、父親では約5割、母親では約4割となっています。

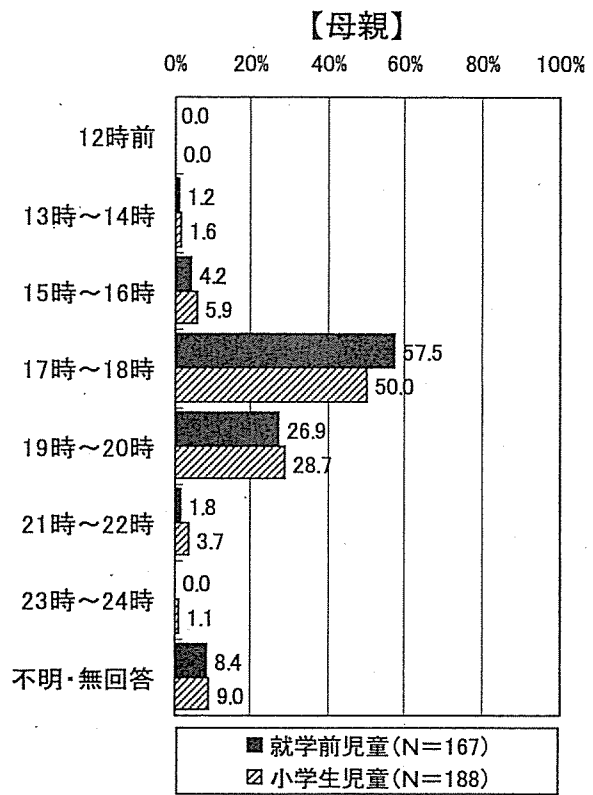
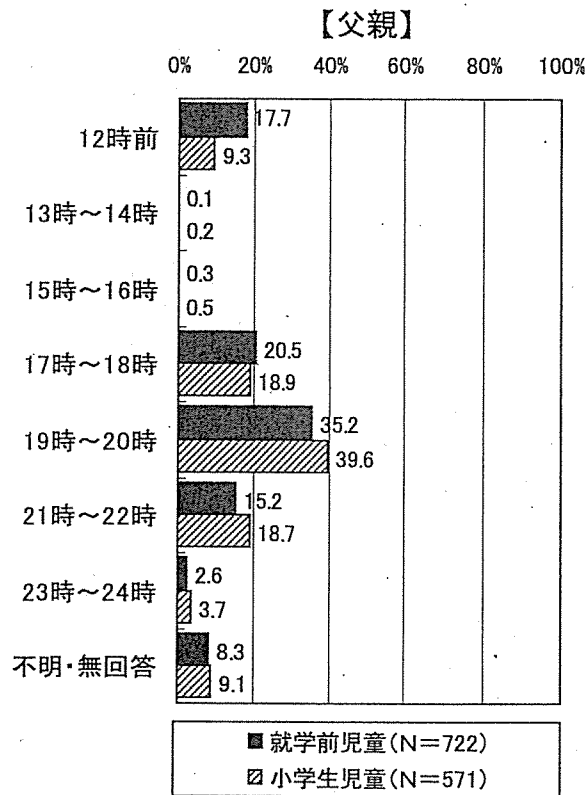
①保護者の1日あたりの就労時間・フルタイム（数量回答）



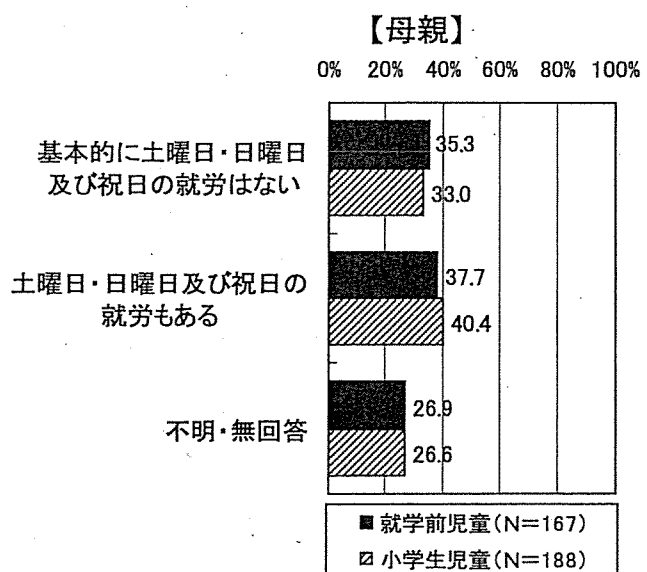
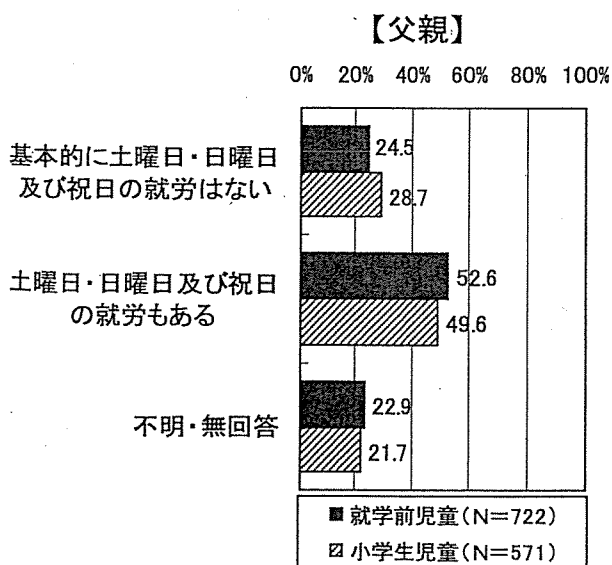
②保護者の週あたりの就労日数・フルタイム（数量回答）



③保護者の帰宅時間・フルタイム（数量回答）



④土曜日、日曜日の就労・フルタイム（単数回答）



(3) パートタイム、アルバイトで就労している保護者の状況

パートタイム、アルバイトで就労している保護者の状況については、就学前児童、小学生児童ともに、父親では全体的に件数が少なくなっています。母親では、週あたり「5日」、就労時間では「5～6時間」の割合が高くなっています。そのほか、「土曜日・日曜日及び祝日の就労もある」では、母親が3割を超えています。

また、母親のフルタイムへの転換希望は、就学前児童、小学生児童ともに3割を超えています。

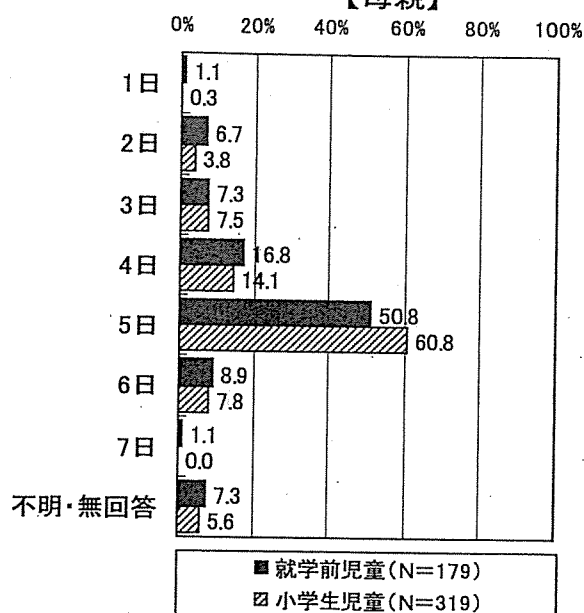
①保護者の週あたりの就労日数・パート、アルバイト（数量回答）

【父親】

単位：件

	就学前児童 (N=4)	小学生児童 (N=9)
1日	0	0
2日	0	0
3日	0	1
4日	0	1
5日	3	3
6日	0	3
7日	0	0
不明・無回答	1	1

【母親】



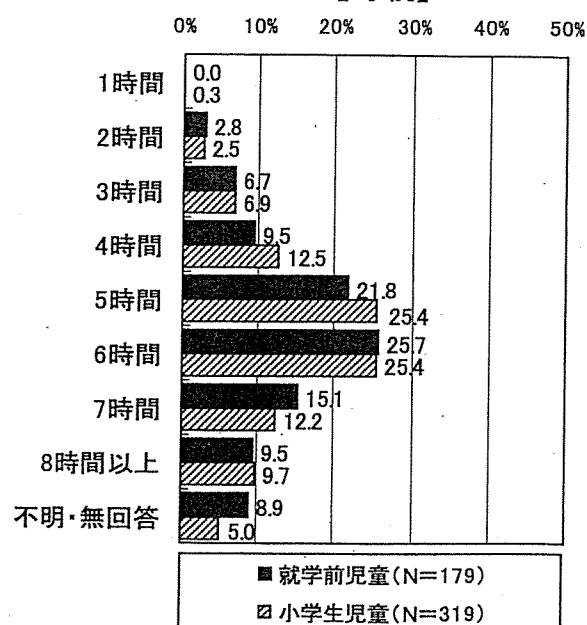
②保護者の1日あたりの就労時間・パート、アルバイト（数量回答）

【父親】

単位：件

	就学前児童 (N=4)	小学生児童 (N=9)
3時間未満	0	0
3時間	0	0
4時間	0	0
5時間	0	3
6時間	3	0
7時間	0	1
8時間以上	0	4
不明・無回答	1	1

【母親】



③土曜日、日曜日の就労・パート、アルバイト（単数回答）

【父親】

単位：件

	就学前児童 (N=4)	小学生児童 (N=9)
基本的に土曜日・日曜日及び祝日の就労はない	1	2
土曜日・日曜日及び祝日の就労もある	2	5
不明・無回答	1	2

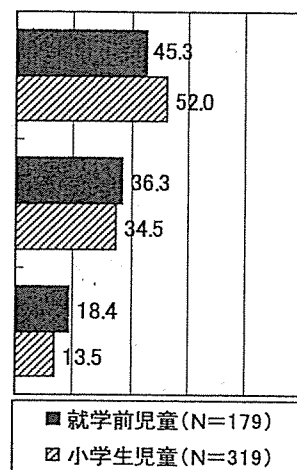
【母親】

0% 20% 40% 60% 80% 100%

基本的に土曜日・日曜日及び祝日の就労はない

土曜日・日曜日及び祝日の就労もある

不明・無回答



④フルタイムへの転換希望・パート、アルバイト（単数回答）

【父親】

単位：件

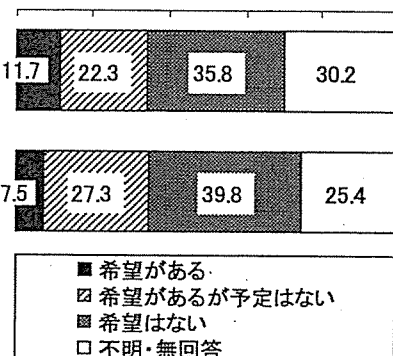
	就学前児童 (N=4)	小学生児童 (N=9)
希望がある	1	3
希望があるが予定はない	0	2
希望はない	1	2
不明・無回答	2	2

【母親】

0% 20% 40% 60% 80% 100%

就学前児童
(N=179)

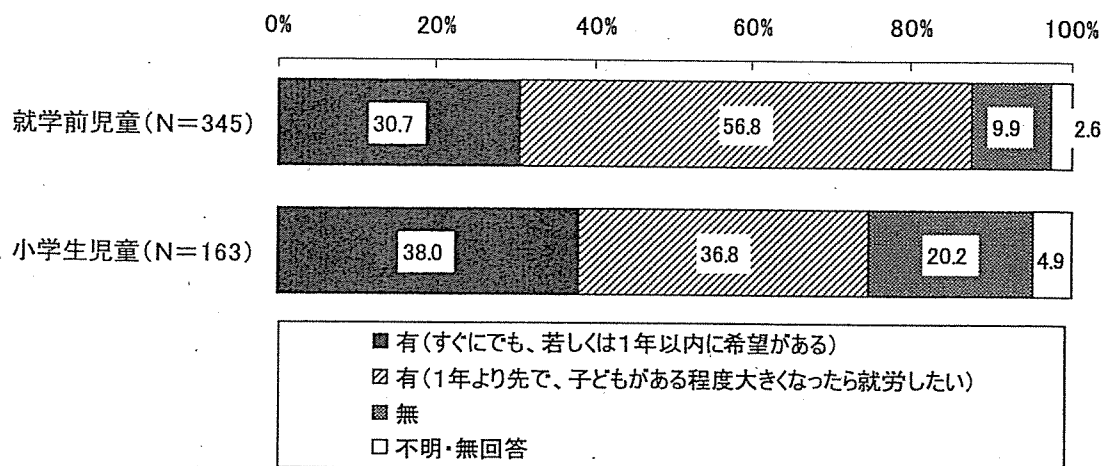
小学生児童
(N=319)



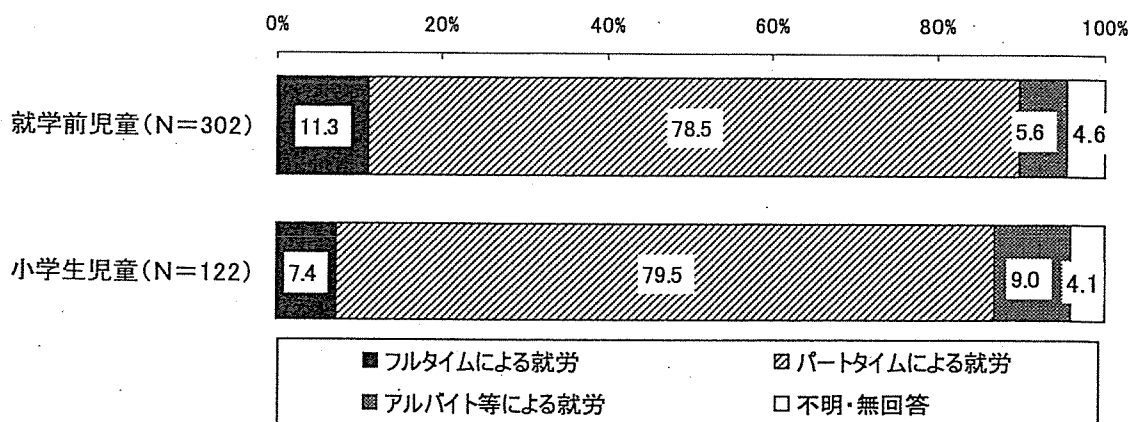
(4) 現在就労していない母親の就労希望

現在就労していない母親の今後の就労希望については、『有（すぐにも、若しくは1年以内・1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）』では就学前児童で8割、小学生児童で7割を超えており、大部分の母親が就労希望を持っています。また、その就労形態では就学前児童、小学生児童ともに「パートタイムによる就労」を希望する割合が約8割となっています。

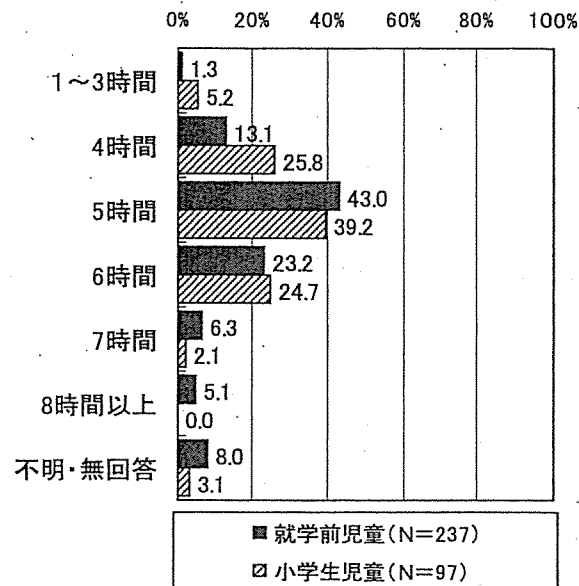
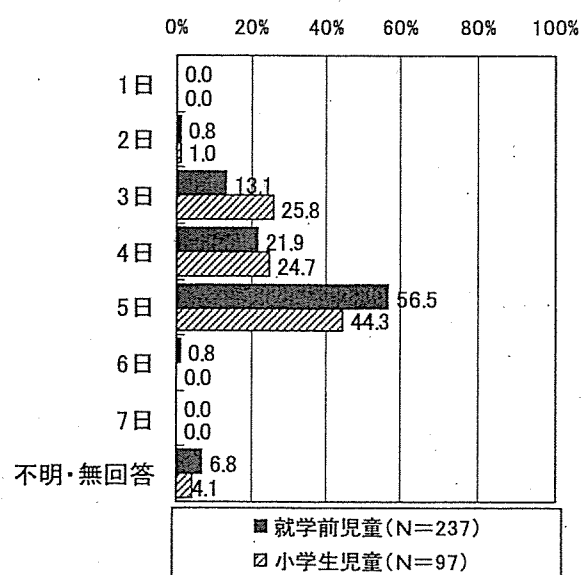
①就労希望の有無（単数回答）



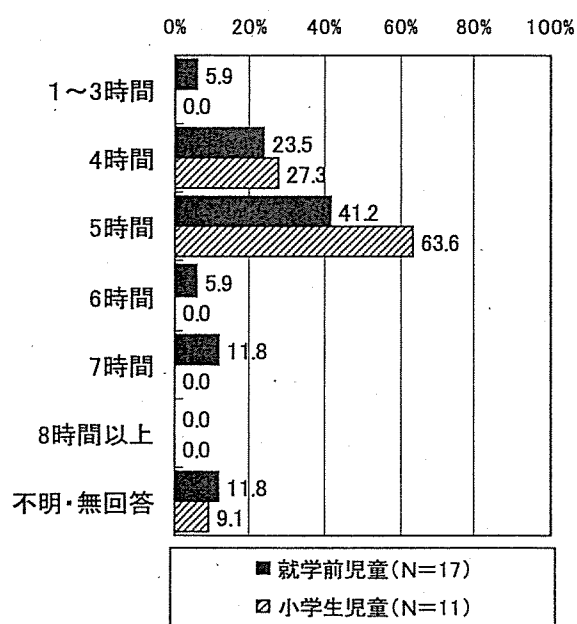
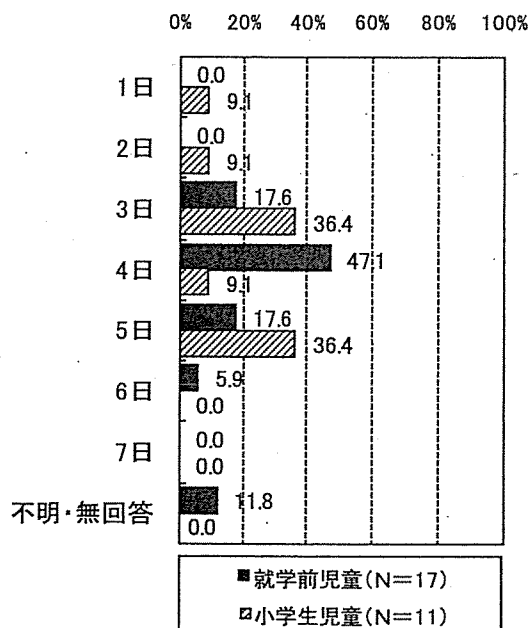
②就労希望の形態（単数回答）



③ (パートタイム) 希望する就労日数、時間 (数量回答)



④ (アルバイト) 希望する就労日数、時間 (数量回答)

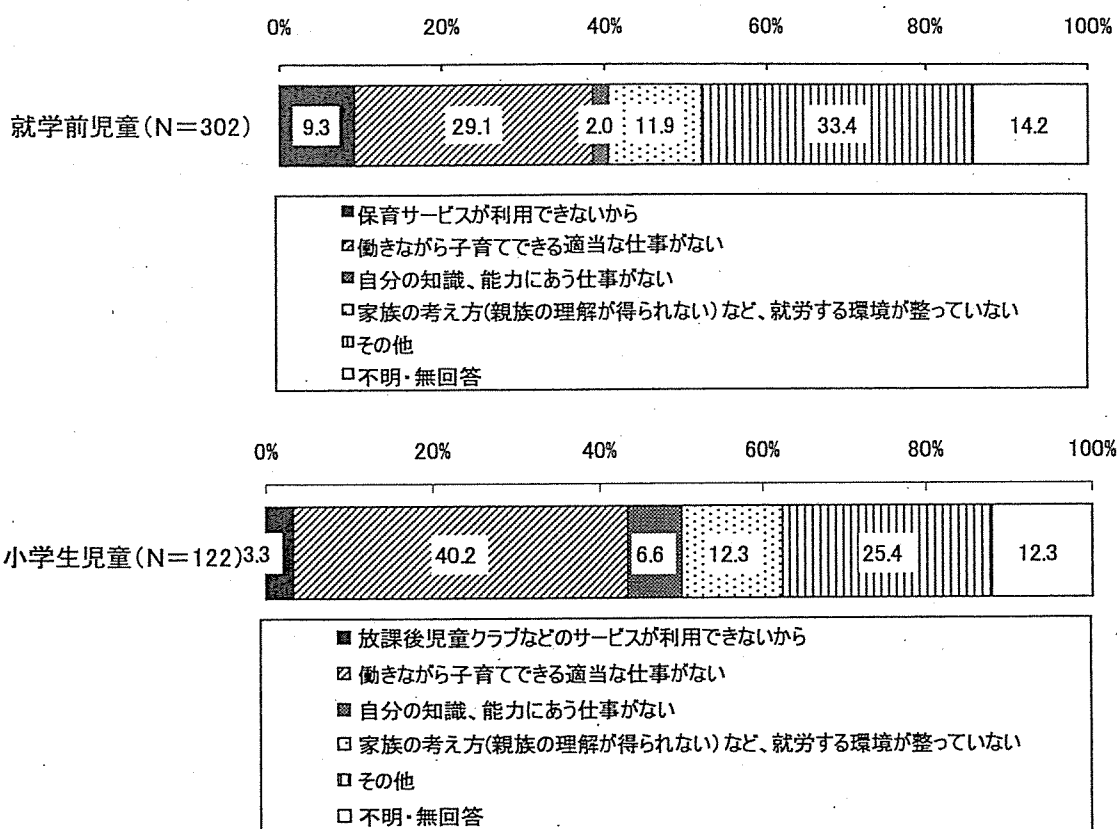


(5) 就労希望がありながら働いていない理由

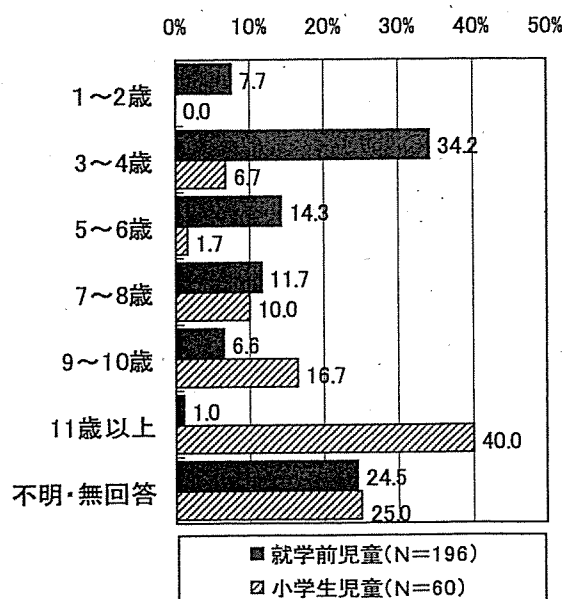
就労希望がありながら働いていない理由としては、就学前児童、小学生児童ともに「働きながら子育てできる適当な仕事がない」「その他」への回答が多くなっています。

また、子どもが何歳になった時に、就労を希望するかについては、就学前児童では「3～4歳」、小学生児童では「11歳以上」の割合が高くなっています。

①就労希望がありながら働いていない理由（単数回答）



②一番小さい子どもが何歳になった時に 就労を希望するか（数量回答）



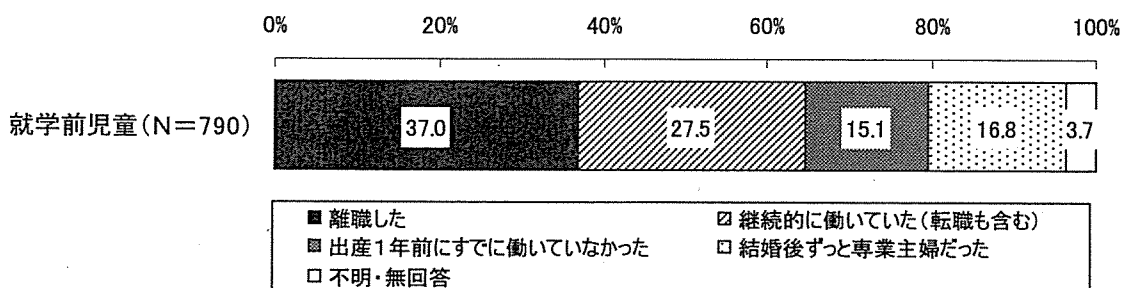
【就学前児童】

（６） 母親の出産前後の就労の状況 ※就学前児童のみへの質問

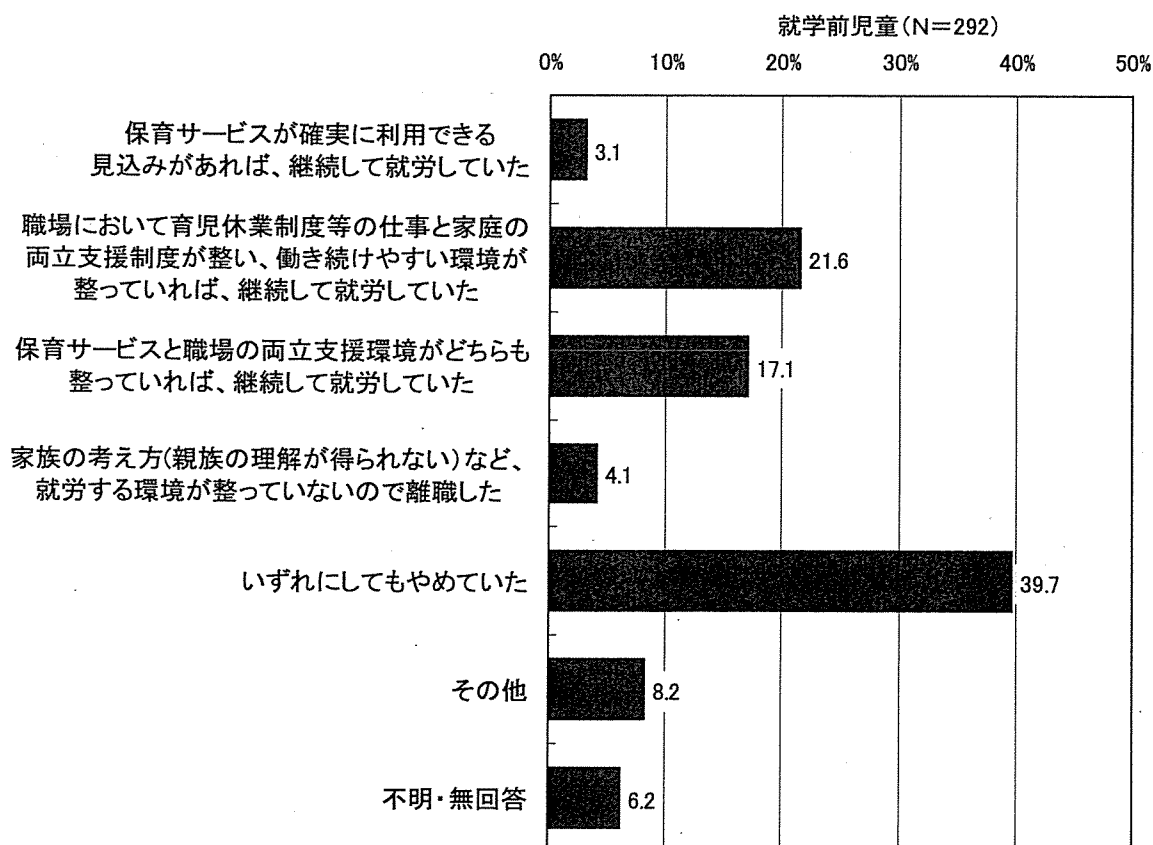
母親の出産前後の就労の状況については、「離職した」が37.0%と、最も高くなっています。

また、どんな環境があれば就労を継続したかでは、39.7%が「いずれにしてもやめていた」としていますが、「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」については21.6%となっています。

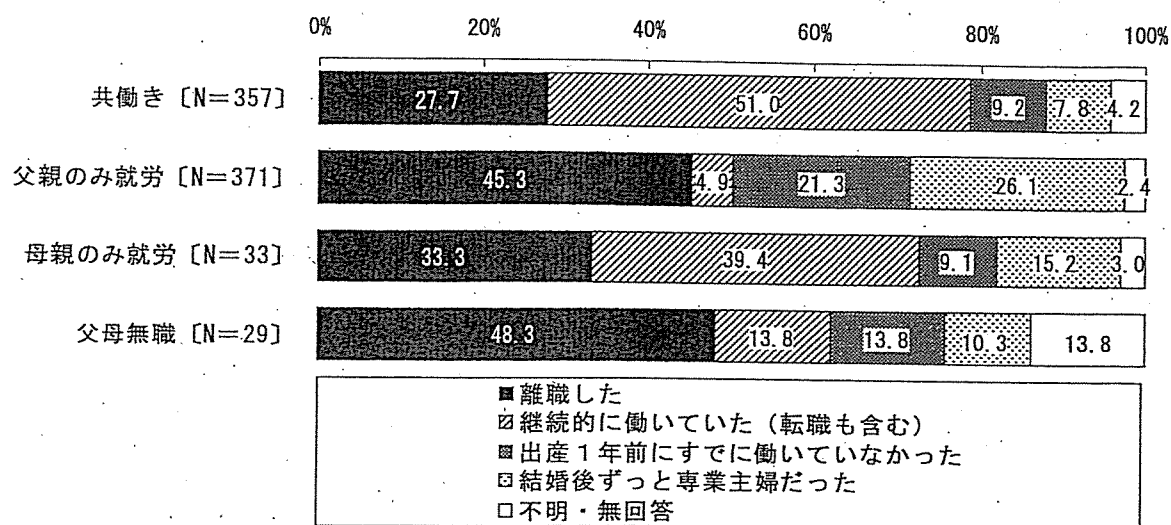
①出産前後の離職の有無（単数回答）



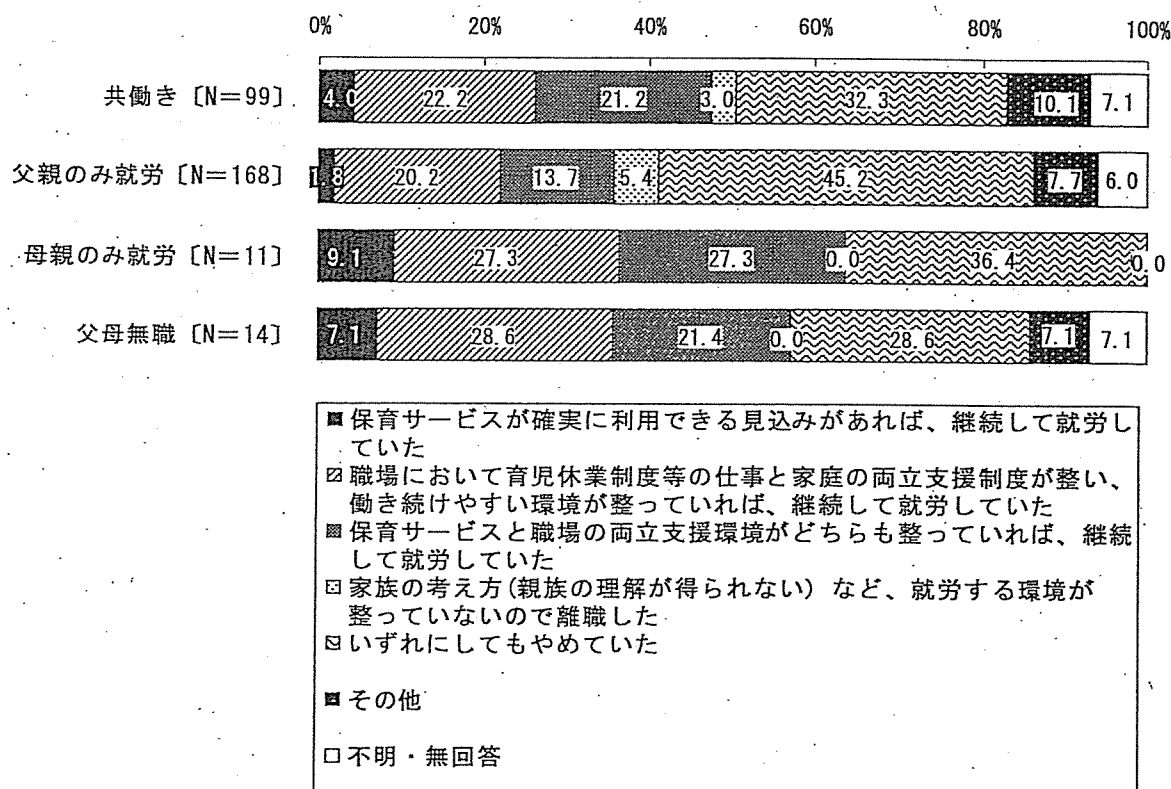
②どんな環境があれば就労を継続したか（単数回答）



【就労類型別：出産前後の離職の有無】



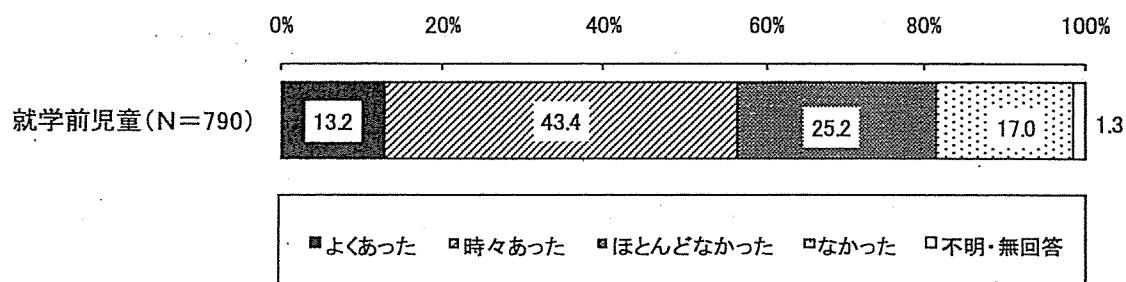
【就労類型別：どんな環境があれば就労を継続したか】



③妊娠中、出産前後に母親が不安定になったか（単数回答）

母親の出産前後の精神的な状況については、不安定な状況が「時々あった」が43.4%と、最も高く、「よくあった」との合計の割合は5割を超えています。

また、妊娠中や出産前後に必要なサービスについては、「赤ちゃんの育児サポート」「兄弟をみてくれるサポート」「子育て中の人との交流」といった支援を求める割合が高くなっています。



④妊娠中や出産前後に必要なサービス（複数回答）

